

## 東庄町見守り ネットワーク事業

2月の「東庄町見守り強化月間」に高齢者安否確認および災害時要援護登録者の台帳更新を行います。

### ◆高齢者安否確認

85歳以上の高齢者および75歳～84歳の独居高齢者を対象に安否確認を行います。

### ◆災害時要援護登録者の台帳更新

災害時要援護登録者の安否確認や避難支援などを行うために必要な情報（緊急連絡先、医療情報など）が載った台帳の更新を行います。

更新の通知が届いた方は、記載の情報を確認し、変更がある場合は変更事項を記載し返送してください。記載内容に変更の無い方は、以前のものと入替をしてください。

災害時要援護登録者とは、地震などの災害が発生したときに、高齢者や障害者など、自ら避難することができない恐れのある在宅の方で、申請があった1059人が現在登録されています。

災害時に支援が必要な方は、随時受け付けていますので、保健福祉総合センターの窓口でお申し込みください。

問い合わせ・申し込み  
保健福祉総合センター内  
健康福祉課 福祉係  
☎79-0910



頭痛は誰もが一度は経験していると思います。ありふれた症状ですが、中には緊急性の高い病気が隠れていることもあるので今回は緊急で医療機関を受診した方がいい頭痛についてお話しします。

## 頭痛の種類と症状



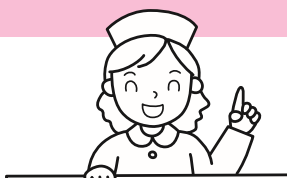
国保東庄病院  
にしはら ひろし 医師  
西原 弘嗣

す。おおむね軽度～中等度の頭痛であり、繰り返す症状が特徴になります。  
二次性頭痛はなにか別の病気があり、その結果として頭痛になっているものです。ですので二次性頭痛のうち危険な病気の症状について解説します。二次性頭痛の中でも特に緊急性のある病気に、頭蓋内出血（くも膜下出血、脳出血）、緑内障、髄膜炎があります。頭蓋内出血（くも膜下出血）の特徴は「突然

の激しい頭痛」で、頭をバツトで殴られたほどの痛みなど形容される事もあるほどです。主に高血圧や頭を打つような外傷のときに発症する病気です。中には痛みが強すぎて失神して発症した時の記憶を無くしてしまいう人もいますので、突然の激しい頭痛や気を失った後の頭痛は病院を受診または救急車を要請しましょう。  
緑内障は眼圧が上がる病気で発作時には失明の危険があります。症状の特徴は頭痛に加え、眼の充血、嘔吐を伴います。眼科で緑内障の診断を受けている方は上記の症状があらましたら病院を受診しましょう。  
髄膜炎とは脳や脊髄を包む膜に細菌やウイルスが感染した状態です。頭痛・発

熱に加え意識が朦朧とします。この記事が掲載されるころは風邪やインフルエンザが流行していると思われ、発熱・頭痛の患者さんはとても多いことでしょう。その中に髄膜炎が混じっていることはあるのですが、発熱や頭痛に加えて意識が朦朧としている・会話がとんちんかんになっているような症状の方がいたら、ただの風邪・インフルエンザと思わずに一度医療機関を受診することをお勧めします。  
頭痛の原因となる病気はこれだけではありませんが、二次性頭痛の特徴に当てはまる時は医療機関を受診しましょう。

問い合わせ  
東庄病院 ☎1177



### 東庄病院の診療日

1/4～2/10

年始は1月3日(日)まで休診となります。

内 科	月～金曜日の午前および 第1・第3土曜日の午前
整 形 外 科	毎週火曜日の午前

(受付時間は午前11時まで)

※救急患者については、休診日および時間外でも24時間体制で診療しますので、電話連絡のうえ来院してください。☎86-1177